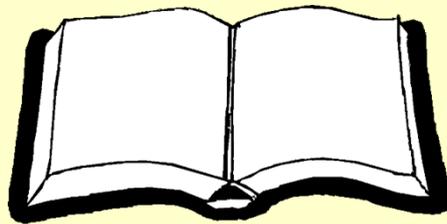


2020.3.5.
「キリスト教と福祉研究会」

新約聖書における教会と福祉



1

ルカ文書（ルカの福音書・使徒の働き）
におけるイエスさまの福音とその働き

- **共観福音書における主イエスの「神の国」の福音とその宣教活動は、現在の福祉領域の働きと密接な繋がりをもっている。**
- **「ルカの福音書」の主イエスの宣教の働きに注目**

2

ルカ 4 : 18 - 19

主の霊がわたしの上にある。
 貧しい人に良い知らせを伝えるため、
 主はわたしに油を注ぎ、
 わたしを遣わされた。
 捕らわれ人には解放を、
 目の見えない人には目の開かれること
 を告げ、
 虐げられている人を自由の身とし、
 主の恵みの年を告げるために。

3

主イエスの働きの主体と目的

- ①主（救い主である神・ヤハウェ）
- ②わたし（主のしもべ・メシア）
- ③主の霊（聖霊）

目的は「ヨベルの年」（レビ25章）の実現
 すべての人の解放、所有地への帰還、
 土地の休息、所有地の回復（贖い）

4

主イエスの働きの対象はだれなのか（福音を必要とする人々）

- ① 貧しい人
- ② 捕らわれ人
- ③ 目の見えない人
- ④ 虐げられている人

福音は社会的弱者（靈的な意味も含まれているが・・・）のためである。

5

ルカの福音書のイエスの宣教の働きは、イザヤ 6 1 章の実現

- ・ 病気のいやし
- ・ ツアラアトのきよめ
- ・ 取税人の回復、召し（マタイ、ザアカイ）
- ・ ナインのやもめの息子
- ・ 善きサマリア人
- ・ 18年病の靈に支配された女性
- ・ 失われた人を探す（放蕩息子）

6

イエスの十字架・復活により「ヨベルの年」（解放）が始まった！

- 十字架上で悔い改めた罪人にパラダイスにともにいると宣言するイエス
- エマオへの途上をともに歩くイエス
- ご自身が受けた主の霊を（父の約束）弟子たちに約束するイエス

7

イエスの福音は「使徒たち」へと引き継がれていく

- 「使徒の働き」の大きな主題は、主イエスの福音をだれが継続していくのか。

使徒1:8 「しかし聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに、地の果てまで、わたしの証人となります。」

8

